

NIME 支援事業内容の説明会報告

教育学習支援チーム 菊沢正裕

2008.7.10

日 時 7月10日(木) 9:00から10:30

場 所 福井キャンパス L208 教室、小浜キャンパス TV 会議室

参加者 交野好子理事, 大野史博主任, 亀田勝見准教授, 菊沢正裕教授, 廣瀬弘毅准教授, 本田和正教授, 水田尚志准教授, 山川修教授 (以上8名)

講 師 独立行政法人 メディア教育開発センター (NIME) 角倉雅博教授

内 容

(1) 9:10~9:50 NIME 支援事業内容の説明 (添付資料) と質疑応答

(2) 9:50~10:30 e ラーニングおよび ICT 活用教育推進に係わる話合い

(1) についての質疑応答

Q 支援メニューのなかのプロジェクト型学習支援 Pro Bo を他大学との連携ゼミに使用したいが、自由に使えるか?

A (角倉教授) NIME サーバで体験はできるが、実際に使用するときはシステムを県大サーバにインストールする必要がある。

Q インストールするシステムがない場合についての対応は?

A (角倉教授) 後日連絡します。

Q フルタイムオンライン授業では対面授業と同じ質をどう維持するか。

A (角倉教授) 「大学設置基準」で、大学卒業に必要な要件として、例えば124単位のうち60単位まではメディアを利用して行う授業で単位取得して良いといった要件が設定されています。これについて私が作成した資料を後日お送りいたします。

Q 学生への連絡、掲示板、アンケート等に使用するケータイシステム (K-tai Campus) の利用について詳しく聞きたい。

A (角倉教授) 他と同様、システム利用は無料、この場合サーバも NIME のものを使用できる。既に100大学以上が利用している。

Q 多数の支援メニューがあるが、認証は統一されているか?

A (角倉教授) 必ずしも統一されていない。

(2) についての質疑応答

(角倉教授) 教材開発やリメディアル支援などについて実情を教えて欲しい。また本日説明したメニュー以外に必要なシステムおよび NIME に対する要望があれば教えてほしい。

(参加者) リメディアルの制度はないが、学生が個人的に NIME のリメディアル教材を利用するニーズはあると思う。

(参加者) 情報基礎能力の格差が広がりつつあり、リメディアル教育のニーズは今後高まると思

う。多くの大学で同じ状況にあると思うが、そのようなコンテンツは提供されるか？できれば、実践スキルの小項目ごとに選択学習できるコンテンツの開発をお願いしたい。

(角倉教授) NIME ではビデオ教材の製作を支援しているが、ビデオ教材製作のニーズはないか？

(参加者) 沿岸や船上などフィールドでの教育にビデオ教材が有用と考える。そのような製作支援はどうするか。このように、NIME にいて製作できないケースはどうするか。研修の場などがあるか。

(角倉教授) そのような研修のコースはない。ただ、幕張にきていただければ、ビデオ撮影の方法や編集の仕方を個別に教授することは可能である。

(参加者) Moodle を中心としたオンライン学習大学ネットワーク UPO NET に興味がある。本学でも利用できるか？

(角倉教授) UPO-NETは大学間の連携組織で、100大学以上が参加しております。

教材の配信も始めております。<http://upo-net.nime.ac.jp/>で活動内容を見いただけます。

